

# エスペランサフットボールクラブの活動方針

## 1. 名称

エスペランサフットボールクラブ

## 2. 所在地

〒651-2114

兵庫県神戸市西区今寺33-15 クローバメゾン伊川谷205号

TEL: 078-976-5556 FAX: 078-995-5013

## 3. クラブの組織

クラブ員、青年リーダー、成人の指導者、親や地域住民の有志の育成部より構成される。  
主役は言うまでもなくクラブ員である。

## 4. 目的

スポーツサッカーを通し、クラブ員の少年期における体力や運動能力の向上、サッカーへの興味づけや、技術の開発・向上をはかること。そして練習や試合で楽しさ苦しさなど様々な体験をし、豊かで楽しい少年時代をおくること、さらによりよい社会人として育成されることを目指す。

## 5. 活動方針

サッカーをしたい、サッカーが上手になりたいという子供たちが自主的に集まった集団であるとの前提に立ち、「仲間に入りたい」「強くなりたい」「上手になりたい」「ゲームに出たい」「勝ちたい」など、クラブ員各々の欲求を最大限に満足させられるよう、公平に機会が与えられ、その中で努力したものが認められる健全なスポーツ活動とします。

<活動のポイント>

(1) 夢や理想そしてより高い目標を掲げ、その可能性を追求することにより指導育成が図られ、全員の健全な心身の発達が図られる活動にします。

(2) 一人一人違った個性を持ったクラブ員の資質、能力、組織姿勢に合わせ、伸びようとする子はより伸ばし、かつ、全員が一層レベルアップの図れる活動を目指します。

## 6. 運営方針

クラブ員の自主性が尊重され、クラブ員自身の判断や考察によってクラブ活動が行われることを基本とする。なお指導者は目的・目標のため、必要な要点や問題点などを提起し、適切な指導・助言を行うことで協力する。また、育成部は育成指導方針に基づき、クラブ員が自ら物理的に解決できないことを物心両面より支えることでクラブの活動を運営する。

## 7. 指導育成方針

クラブ員各々の発育達成段階に見合った成長を願い、一人一人の個性に合わせ、指導育成されなければならない。楽しむスポーツを基本と置きながら、競技性を大切に、下記の「こころの健全な成長」が図られるよう育成されるべきとします。特に、指導者や育成部等の大人の過度の考え方や期待のもとにクラブ員を傷つけ、怖がらせるような言動や体罰など決してあってはならないと考えます。

- ① クラブ員たちと語らうことで、クラブ員たちが自ら夢を抱き、自らの目標を定め、その達成の為に何をすべきか考え、そして自ら努力し向上させ達成することができるチームになるよう、指導育成します。(自主自立の精神)
- ② 練習を楽しみ、練習で苦しみ、試合に負けてくやしがり、勝って喜び、といったいろいろな感情を体験する中で、フェアプレー、チームワーク、チャレンジ精神、自己精進の大切さを学び勝敗に対する正しい態度が育成されることを目指す。(スポーツマンシップの醸成)
- ③ サッカーのスポーツクラブという社会の中だからこそ、大いに失敗すればよい。恥もかけばよい。その体験の中で精神強さが養われ、ガマンする心、あきらめない心が育成されることを目指す。(不撓不屈の精神)
- ④ クラスメイトといわれるヨコの友達だけでなく、年齢の違うタテの集団のなかに自分を置くことによって、また、ある時は勝ちを求め、ある時は努力したものが認められるといったような、その時々場合によってテーマの違うチームの中に身を置くことによって、社会性を身につけ、社会人として広く大きく幅のある人間形成がはかれることを目指す。(社会性とは・・・、その中で自分のあり方とは、)

## 8. 指導者のあり方

クラブの目的と指導方針を理解し、青少年育成の観点から、クラブ員の心身の適正な発達を保障できる資質が要求される。そのため、スポーツ技術の習熟のみならず、スポーツ少年クラブ活動に関する多方面からの学習が重ねられなければならない。そして常に社会人としてのモラルを高め、磨かれる様自己研鑽しなければならない。

9. 目標 (1) 到達可能なクラブとしての目標・・・・・・・・・・全国大会出場
- (2) クラブ員の一人一人の目標

## 10. 活動内容

### (1) 日常練習

その活動は、そのスポーツの運動技能の取得を主とし、その過程で健康・体力の増進を図り、社会的態度、健康安全に対する態度を育成し、スポーツを生活の一部とし、習慣とすることを旨とする。

### (2) 対外試合

クラブ員の自己研鑽やクラブの活性化に結びつく大切な活動であり、子供たちが練習してきたことを見てもらう舞台であると認識しています。従って一人一人かつ全員が資質や要望に合わせて公平にその場が与えられる必要があると考えています。

- 全国少年サッカー大会明石市予選 (春～)
- 県大会明石市予選
- その他各種交流試合・招待試合

又、試合はクラブ員一人一人を総合的に判断して、監督コーチが各チームのメンバーを選出します。(実力に応じてチームの編成を変える場合があります。)

※当然ながら、クラブ員の健全な発育を阻害し、学校や家庭での生活を乱す様な、行き過ぎた勝つためだけの考えはありません。

### (3) 遠征と合宿

子供たちも家庭を離れ、チームとしても外の社会でひとり行動する場であり、大切な経験です。チームワークを学び、自主性を養い、また、サッカーの戦術など理論的な知識を学び意見交換する場です。

## 1 1. グループ編成

「年齢別グループ」と「技術・能力別グループ」を併用します。技術・能力別は長期間にわたって固定することなく交流をはかります。

## 1 2. 指導者の役割と体制

クラブ活動の目的にそった指導育成を行ない、主体であるクラブ員の自主性を養うことと併せ、よき相談相手となり、そのクラブ員を中心としたクラブ活動のスムーズな運営を推進する。

### (1) クラブ全体の指導（代表、監督各1名）

クラブ運営の総括責任者。クラブ員ひとりひとりの生活指導やカウンセリング。運営のアドバイスと決定。他の指導者の代行。

### (2) 育成の指導（代表、監督、運営部等）・・・数名

クラブ活動の活性化やクラブの維持、発展を図るため地域内外の協力体制づくり、資金、施設、指導者の確保などクラブ経営についての条件整備を行なう。

### (3) 技術の指導（監督、コーチ、トレーナー）・・・数名

スポーツを中心とした専門的な実技、知識の指導。目標達成の練習、活動の実践を指導する。